

聖地 サールナート(インド)

の す こう せつ
野生司香雪の仏伝壁画
保全プロジェクトにご支援を!

— サールナート —

仏教四大聖地の一つ。
日本では鹿野園として知られる。
ガンガー(ガンジス河)の沐浴で有名なインドの聖地ワラーナシー(ベナールス)の北にある。
紀元前5世紀頃、仏陀が初めて説法、仏教が生まれたという地に建つターメクの塔で有名。初転法輪寺はその塔の東側に隣接して建つ。



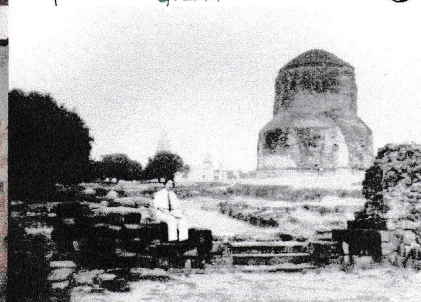
降魔成道の図



初転法輪寺



南、入口側の壁画(通路上に日本の梵鐘が見える)



香雪とその背後に初転法輪寺、右がターメクの塔

実行団体 **野生司香雪画伯顕彰会** 会長 生田要助

〒761-8077 香川県高松市出作町162-36 (株)イクタ内

TEL:087-889-0330 FAX:087-888-0836 URL: <https://nosu.info/>



後援 (公財)日印協会、(公財)中村元東方研究所、(学)淑徳学園、(学)武蔵野大学、インド大使館、香川県

協賛 (公財)仏教伝道協会

特別協力 (公財)文化財保護・芸術研究助成財団

協力 (株)トラベル サライ、(有)彩色設計、ディスカバー インディア クラブ(DIC)

プロジェクトの
お問い合わせ先

携帯 090-3186-2069 TEL 087-889-0330 FAX 087-898-1890
E-mail: nosukosetsu@gmail.com

サルナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保全 募金趣意書

インドの聖地サルナート(鹿野園)の仏教寺院に、全長約44m、高さ約4.4mの仏伝の大壁画があります。83年前に日本とインドの民間文化交流として派遣された野生司香雪画伯が描いた「釈尊一代記」です。

仏陀の生涯を、インドの風土や歴史を踏まえ、鮮やかな色彩でわかり易く描いた日本画の壁画は、訪れる国内外からの観光客や仏教徒らに強い感動を与え続け、今ではアジャンターの壁画とともにサルナートの仏伝として広く知られる世界の文化遺産です。

寺院の名は初転法輪寺(ムーラガンダクティー・ビハール)といい、インドでの仏教再興を志したスリランカのダルマパーラ(1864~1933)が1931(昭和6)年に建立、堂内に仏伝、釈尊の一代記を描こうと日本に依頼してきました。国や民間団体、学者ら関係者が協議し、アジャンター壁画模写の経験もある香雪を選び派遣。インドを愛する47歳になった香雪は奇縁を得て日本芸術の母の国への恩返しと精進し、助手をつとめた河合志宏とともに暑さの厳しい自然や困窮と闘いながら、苦節5年をかけて完成させました。

しかしその壁画も時と共に劣化、剥落が進み、初転法輪寺では壁画を後世に伝えようと作者の精神を継ぐ日本の手での保全、剥落止めの保存修理をと長年訪れる日本人に呼びかけています。

その呼びかけに応え、壁画や画伯の縁に繋がる者が相計り、まずは画伯の故郷から声を上げることとし、数年をかけ文化財保存修理関係者、また香雪縁の方々や所有者のインド大菩提会(マハーボーディ・ソサエティー オブ インディア)と協議を重ね、合せてこの機会に文化財としての記録保存を行うこととし体制を整えました。そしてここからは広く全国の皆様方に募金を呼びかけ、本プロジェクトの実現を目指す段階になりました。

このプロジェクトは3期2ヶ年、総事業費5,000万円の大プロジェクトで、仏教での世界平和を願った画家香雪、また近代に未来や世界を見据えて香雪を送り出した我国の先賢各位の志の継承であります。また遠いインドの地で今も世界の人々の心に語りかけ続けている我国の美術、仏教、近代史上に特筆される稀有な在外の日本画の文化財の保全活動、そしてさらには仏伝壁画を介した日印の民間文化交流史再生のプロジェクトであり、皆様方のご賛同、ご支援なくしては決して成し遂げることではできません。

厳しい経済事情の時代ではございますが、趣旨をご理解いただき、なにとぞ皆様方の格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年5月



野生司香雪

発起人

生田 要助 野生司香雪画伯顕彰会 会長
南澤 道人 野生司香雪画伯顕彰会 顧問、(宗)大本山永平寺 副貫首
前田 専學 (公財)中村元東方研究所 理事長
田中 教照 (学)武蔵野大学 学院長
溝渕 茂樹 元徳島文理大学 非常勤講師、元香川県文化会館 学芸員
野生司 義光 親族
ベン・P・シーワリー インド大菩提会 General Secretary(総書記)

野生司香雪画伯顕彰会会員

赤松よし子/綾田福雄/小野村勇人/河合 力/砂川啓一/中村義博/野生司祐宏/野生司義光/
野田大燈/平峯千春/藤原浄峰/正山諦寛/三矢昌洋/溝渕茂樹/宮川洋一/宮原 豊/森川輝男

プロジェクトの概要

初転法輪寺（香雪命名 Mulagandha Kuti Vihara 1931～）

所在地 ウッタール・プラデーシュ州ワラーナシー市サルナート

管理団体 インド大菩提会 (Maha Bodhi Society of India)

事業目的 野生司香雪の仏伝壁画の保全（剥落止めと記録保存）
（『釈尊一代記』全長約44m×高さ約4.4m 日本画）

事業内容 1. 剥落止め 保存修理作業 3期2ヶ年計画
・期間 令和元～2年度（延べ約74日間予定）
・行程 1期：元年11～12月、2期：2年11～12月、3期：3年1～2月
・事業監修 木島隆康（東京藝術大学 名誉教授）
・施工 (有)彩色設計
2. 古写真デジタル資料化（完成後50年頃に撮影）
3. 壁画の現状記録保存

総事業費 5,000万円

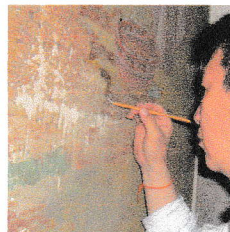
募金目標額 4,500万円（仏教伝道協会助成金500万円を除く額）

募金の窓口（公財）文化財保護・芸術研究助成財団（次頁参照）

特典 特にありません。ただし、税制上の優遇措置があります。（次頁参照）
寄付者のお名前をHP及び事業終了後作成する記録集に掲載。インド大菩提会で寄付者名簿を永久保管。また石版作成表示等（協議中）。（いずれも匿名希望者は除く。）



壁画の剥落の様子（右側）



修理作業の様子

のーす こうせつ

野生司香雪（明治18～昭和48・1885～1973） 日本画家。仏画家。香川県高松市生まれ。東京美術学校卒、日本美術院院友。大正6～7年仏教美術研究のため渡印。現地でアジャンター壁画模写事業に向う荒井寛方に誘われ参加。昭和7年、インドでの仏教再興を志すスリランカ人のアナガーリカ・ダルマパーラが初転法輪寺に釈尊一代記を描こうと日本に依頼。47歳の香雪が選ばれ助手役の河合志宏と渡印。厳しい自然に阻まれ滞在が長期化し困窮。各地で個展を開き資金を得、また日本からの義捐金等でしのぎ、足かけ5年がかりで完成させた。降魔成道の図の前での開眼式では地元のペナレス大学長が司会し市民も参加、香雪の功績を称えた。帰国後は、信州長野県の善光寺から納骨堂の壁画揮毫を依頼され、戦後間もなく完成させた。この間、インドから持ち帰った壁画の下絵を大本山永平寺に献納。現在、宝物館で一部が順次展示公開されている。またインドの聖牛である白牛を善光寺に招来するなど地元の文化活動にも貢献。晩年は長野市の北、渋温泉にある山荘を借りて終の棲家とし、88歳で波乱に満ちたその生涯を終えた。

（ご注意）

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

この場所には、何も記載しないでください。

募金方法のご案内

ご寄付の窓口は、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団です。

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-50 TEL:03-5685-2311 FAX:03-5685-5225

財団は、故平山郁夫画伯の提唱された「文化財赤十字活動」の理念を継承される財団で、香雪の母校、東京藝術大学ゆかりの財団でもあります。今回、特別協力として財団の『重点助成事業』に取り上げて頂き、募金の窓口を引き受けて頂きました。したがってご寄付を頂きますと、個人、法人共に税法上の優遇措置が受けられます。

1.募金名 サールナート(インド)野生司香雪の仏伝壁画保全募金
略称「香雪インド壁画保全募金」

2.募集期間 令和元年5月～令和3年2月(2ヶ年)

3.寄付金額 寄付金額、口数は特に定めません。一人でも多くの方のご支援をお願いします。

4.募金振込先 「郵便振替」又は「銀行振込」が利用できます。

口座名義共通 (ザイ)ブンカザイホゴ・ゲイジュツケンキュウジョセイザイダン
(公財)文化財保護・芸術研究助成財団

◇郵便振替 【00160-5-12319】 下記用紙をご利用ください。

◇銀行振込 三菱UFJ銀行 上野中央支店 普通 0796384

①銀行振込の場合、振込者の住所等の確認のため、振込の前に上記の財団か募金事務局まで必ずお電話かFAX、又はE-mailでお知らせください。ご寄付いただいてもお礼の連絡ができません。

②グループでまとめた振り込みもできます。

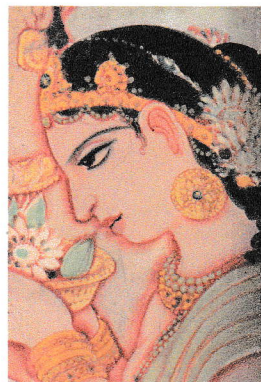
その場合別途に「〒住所、氏名、金額」を書いた一覧表を上記の財団、又は顕彰会にご送付ください。個人別に領収書をお送りします。

4.税制上の優遇措置

ご寄付は公益財団法人への寄付になり、個人、法人共に税制上の優遇措置があります。詳しくは上記の財団にお問い合わせいただくか、財団URL(<http://www.bunkazai.or.jp/>)をご覧ください。

【個人】確定申告の際、寄付金控除(所得控除)と税額控除のどちらか有利な方を選択できます。

【法人】法人税の計算では一般寄付金の損金算入限度額の他に別枠の損金算入限度額にも算入できます。



02	東京	払込取扱票										通常払込料金 加入者負担			
口座記号番号												金額			
0 0 1 6 0 5												千 百 十 万 千 百 十 円			
1 2 3 1 9												金 額			
公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団												料 金			
香雪インド壁画保全募金												備考			
この振込用紙をコピー印刷しても使用できません。 ご注意ください。 ご寄付の場合、恐縮ですが有料でこの番号に振り込んでいただくか、 振込用紙を顕彰会事務局までご請求ください。お送りします。															
日 附 印												様			
(ご連絡先電話番号)															

各票の※印欄は、ご依頼人におしるしで記載してください。

ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号東第57219号)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証															
口座記号番号												通常払込 料金加入 者負担			
0 0 1 6 0 5												千 百 十 万 千 百 十 円			
1 2 3 1 9												金 額			
加入者名												公益財団法人文化財保護 ・芸術研究助成財団			
おなまえ												ご依頼人			
日 附 印												様			
料 金												備考			

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

この受領証は、大切に保管してください。